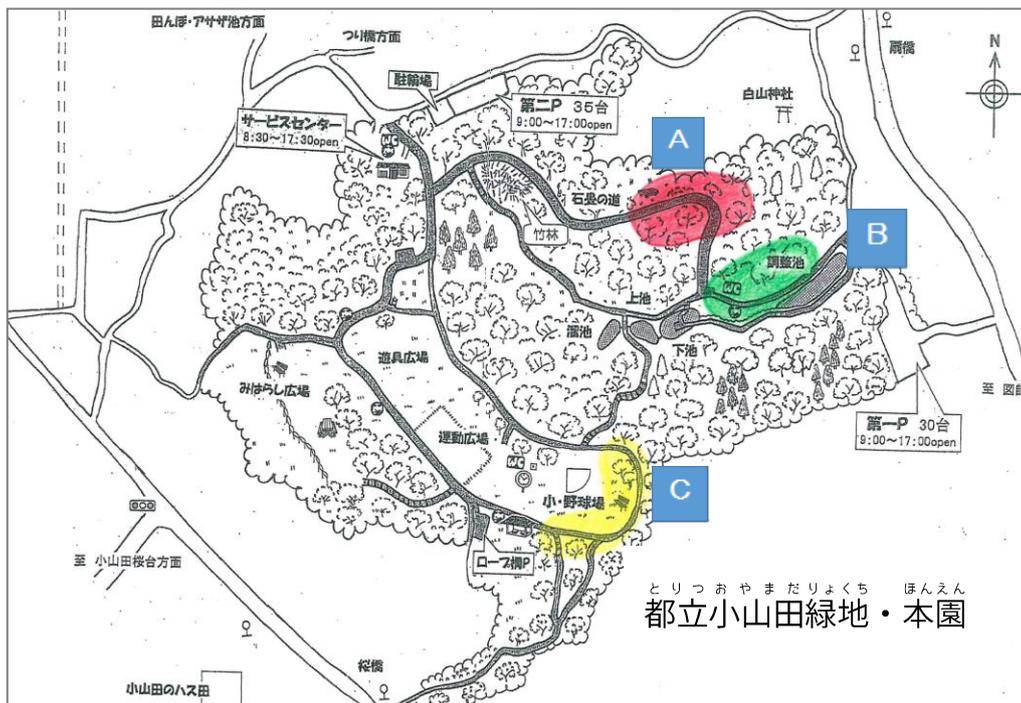


## 2017年 セミのぬけがら調査結果

まちだエコライフ推進会社では今年も都立小山田緑地でセミのぬけがら調査をおこないました。緑地内の本園でこの夏3回の調査をおこない、集めたぬけがらの数は全部で547個でした。昨年の調査で集めたぬけがらは550個でしたから、ほぼ同じ数のぬけがらが集まったこととなります。

### 調査地について

都立小山田緑地は、町田市北西部の自然の豊かな丘陵地にあり、本園と三つの分園からなっています。セミのぬけがら調査は本園（下図）のABCの調査地でおこないました。



### 調査地A

昔からの里山で、一部クヌギなどの植栽がある。地面はほぼ一面下草に覆われているが、日当たりが良く、明るい場所。

### 調査地B

昔からの里山で、近くに池があり、全体的に湿気が多く、薄暗い。下草で覆われた部分と、地面が露出した部分がある。露出している地面は固く、コケが生えているところもある。

### 調査地C

昔からの里山と整備された植栽が両方ある場所。ほぼ一面下草や落ち葉に覆われているが、草が短く刈られているところと、膝丈くらいになっているところがある。



調査地 A



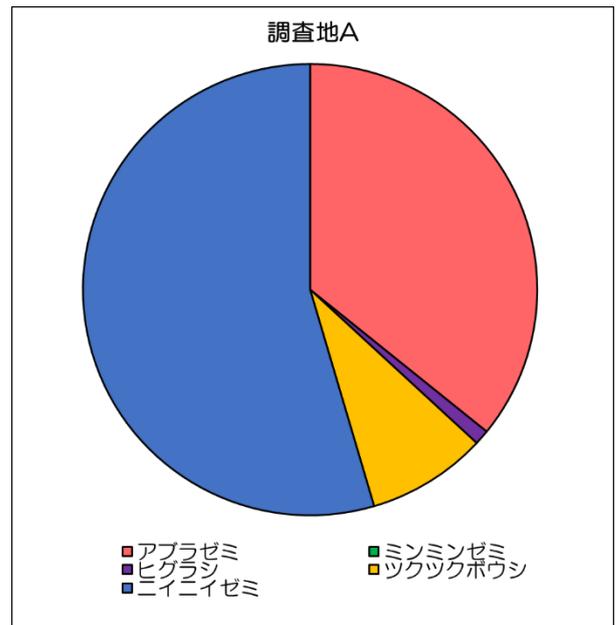
調査地 B



調査地 C

ちょうさち けっか  
調査地Aの結果

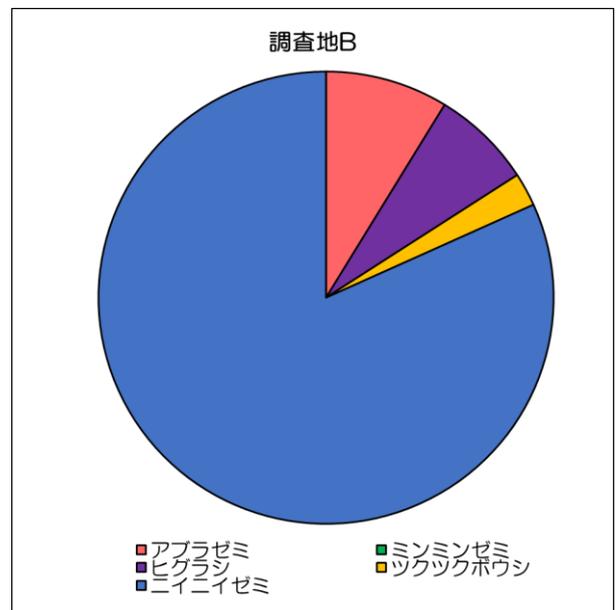
種類	オス・メス	7月25日	8月7日	8月22日	計
アブラゼミ	オス	3	34	5	42
アブラゼミ	メス		14	11	25
アブラゼミ	計	3	48	16	67
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	オス				0
ヒグラシ	メス		2		2
ヒグラシ	計	0	2	0	2
ツクツクボウシ	オス		1	13	14
ツクツクボウシ	メス			2	2
ツクツクボウシ	計	0	1	15	16
クマゼミ	オス	0	0	0	0
クマゼミ	メス	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	85	17		102
合計		88	68	31	187



ぬけがらが見つかった場所は木の幹や葉が中心だった。ニイニゼミ、ツクツクボウシはほとんどが木の幹についていて、アブラゼミは葉の方が多かった。

ちょうさち けっか  
調査地Bの結果

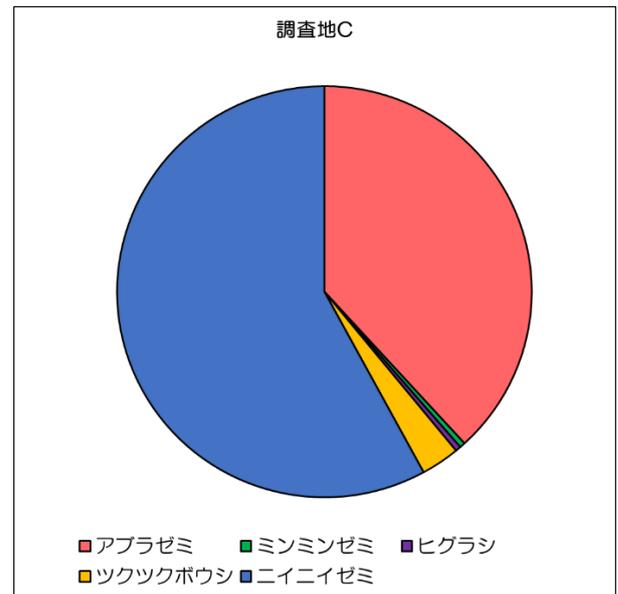
種類	オス・メス	7月25日	8月7日	8月22日	計
アブラゼミ	オス	2	5		7
アブラゼミ	メス		2	2	4
アブラゼミ	計	2	7	2	11
ミンミンゼミ	オス	0	0	0	0
ミンミンゼミ	メス	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	オス	6			6
ヒグラシ	メス	2	1		3
ヒグラシ	計	8	1	0	9
ツクツクボウシ	オス		2		2
ツクツクボウシ	メス			1	1
ツクツクボウシ	計	0	2	1	3
クマゼミ	オス	0	0	0	0
クマゼミ	メス	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	99	4		103
合計		109	14	3	126



圧倒的にニイニゼミが多かった。2回目と3回目はぬけがらの数が極端に少なくなった。2回目の調査時にはヒグラシが大合唱していたが、見つかったぬけがらは1つだった。木の高い所や、入っていけない藪の中でたくさん羽化しているのかもしれない。

ちょうさち けっか  
調査地Cの結果

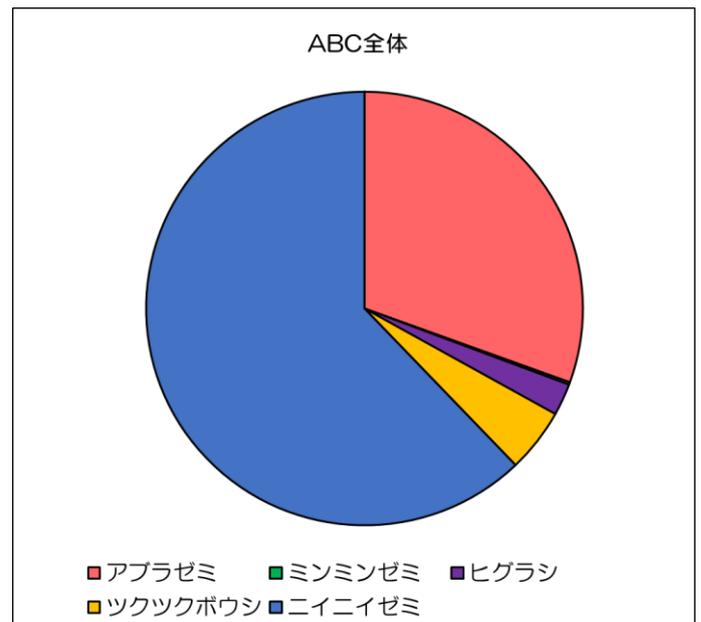
しゅるい 種類	オス・メス	7月25日	8月7日	8月22日	けい 計
アブラゼミ	オス	3	22	29	54
アブラゼミ	メス		11	24	35
アブラゼミ	けい 計	3	33	53	89
ミンミンゼミ	オス			1	1
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計	0	0	1	1
ヒグラシ	オス		1		1
ヒグラシ	メス				0
ヒグラシ	けい 計	0	1	0	1
ツクツクボウシ	オス		3	3	6
ツクツクボウシ	メス		1		1
ツクツクボウシ	けい 計	0	4	3	7
クマゼミ	オス	0	0	0	0
クマゼミ	メス	0	0	0	0
クマゼミ	けい 計	0	0	0	0
ニイニゼミ	けい 計	120	11	4	135
	ごうけい 合計	123	49	61	233



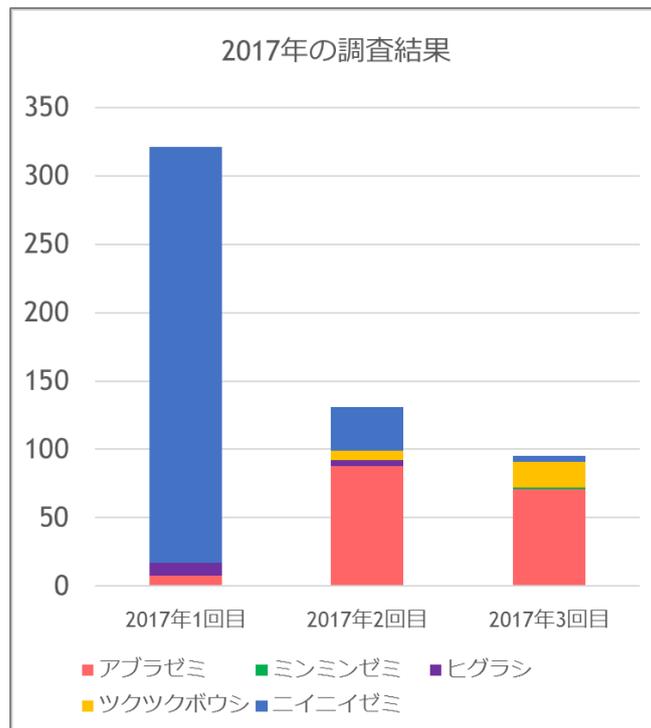
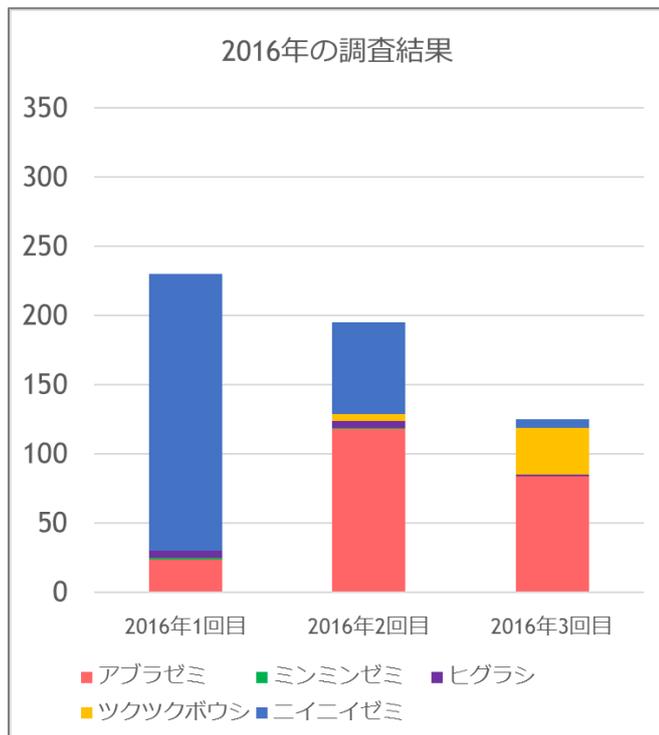
アブラゼミの数が、ABCの調査地の中で一番多かった。アブラゼミのぬけがらは木の葉っぱや膝丈くらいの草の葉の裏にもよくついてた。ニイニゼミのぬけがらは木の幹に多かったが、ぬけがらがびっしりついている木もあれば、まったくついていない木もあった。1つだけ見つかったミンミンゼミのぬけがらは大人が手を伸ばしてなんとか届く高さにある木の葉についてた。

全体の結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月25日	8月7日	8月22日	けい 計
アブラゼミ	オス	8	61	34	103
アブラゼミ	メス	0	27	37	64
アブラゼミ	けい 計	8	88	71	167
ミンミンゼミ	オス			1	1
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計	0	0	1	1
ヒグラシ	オス	6	1		7
ヒグラシ	メス	3	3		6
ヒグラシ	けい 計	9	4	0	13
ツクツクボウシ	オス		6	17	23
ツクツクボウシ	メス		1	2	3
ツクツクボウシ	けい 計	0	7	19	26
クマゼミ	オス	0	0	0	0
クマゼミ	メス	0	0	0	0
クマゼミ	けい 計	0	0	0	0
ニイニゼミ	けい 計	304	32	4	340
	ごうけい 合計	321	131	95	547



## 2016年と2017年の比較



- 2016、2017年ともに見つかったぬけがらはニイニイゼミが最も多かった。とくに、2017年はニイニイゼミの割合が63.4%と圧倒的に高く、2016年の49.5%から10%以上上昇した。
- 2016年、2017年ともに1回目⇒2回目⇒3回目とぬけがらの数が少なくなっている。
- 2016年と2017年の結果を比較すると、見つかったぬけがらはニイニイゼミ、ヒグラシで増え、ミンミンゼミは変化なし。アブラゼミとツクツクボウシが減った。ミンミンゼミはどちらの年も1個しか見つからなかった。(調査中ミンミンゼミの鳴き声は聞こえている)
- 2016、2017年ともにクマゼミのぬけがらは見つからず、鳴き声も確認されなかった。
- 2017年の夏は7月が暑く、8月は雨がちで日照時間が少なかった。このような天候が、セミの羽化数に影響を与えたのかもしれないし、もともとこの夏に羽化するセミの数が少なかったのかもしれない。今後も調査を継続し、変化を見守っていきたい。

